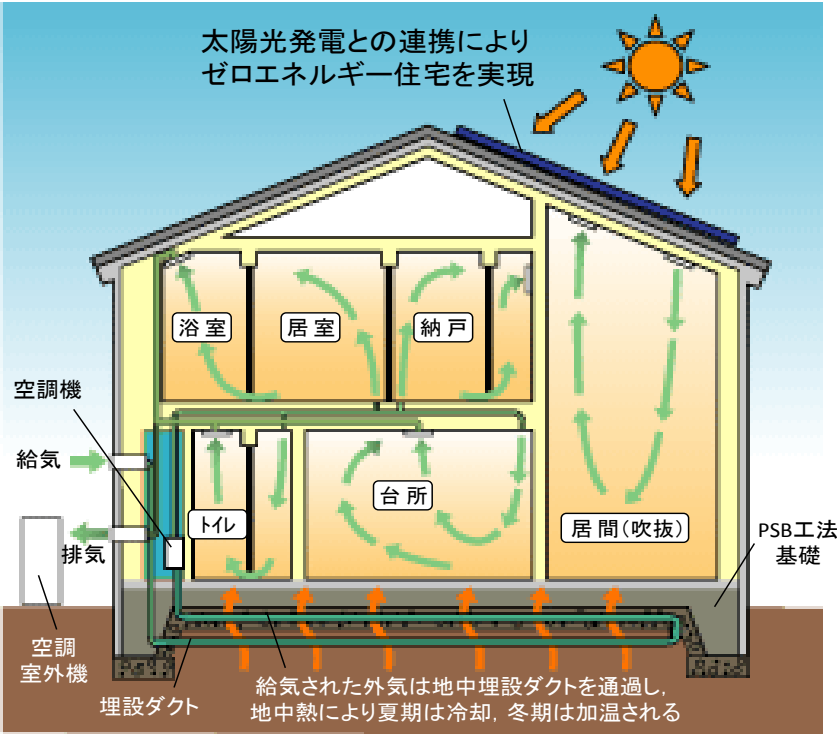


(新規課題)

NO. 15	技術開発 課題名	住宅等におけるアレルギー対策を目的とした集中換気システムの開発		
事業者	・原澤 浩毅 ハラサワホーム株式会社 代表取締役社長 ・土橋 邦生 群馬大学大学院 医学部保健学研究科 教授 ・三田村 輝章 前橋工科大学 工学部建築学科 准教授			
技術開発 経費の総額 (予定)	約 109 百万円	技術開発 の期間	平成25年度～27年度	
<input type="checkbox"/> 1 住宅等におけるエネルギーの効率的な利用に資する技術開発 <input type="checkbox"/> 2 住宅等に係る省資源、廃棄物削減に資する技術開発 <input checked="" type="checkbox"/> 3 住宅等の安全性の向上性に資する技術開発				
背景・目的	アレルギー対策24時間換気システムの構築と性能効果の向上			
■技術開発の概要				
 <p>太陽光発電との連携により ゼロエネルギー住宅を実現</p> <p>空調機 給気 排気 空調 室外機 埋設ダクト PSB工法 基礎 居間(吹抜) 台所 居室 浴室 納戸 トイレ</p> <p>給気された外気は地中埋設ダクトを通過し、 地中熱により夏期は冷却、冬期は加温される</p> <p>PSB工法基礎直下にダクトを埋設することにより 簡易で安価な地中熱交換システムを実現</p> <p>従来の費用対効果5～10倍をめざした地中埋設ダクト方式による地中熱利用全館空調換気システムの開発を進め、室内空気質の改善に努める事により、入居者のアレルギーやPM2.5への対策をすすめると同時に効果を検証し、健康や安全に特化した省エネな住宅を実現する。</p>				
総評	個々の技術に特段の新規性は認められないものの、医工連携の開発体制のもと要素技術を組み合わせて空気清浄・換気システムを構築し、アレルギー対策技術を開発することが評価される。 それぞれの要素技術の課題を確実に解決しながら、明確な成果を得ること。			